

広報

なぎじん

No. 120

1985年11月

村章

(毎月1日発行)

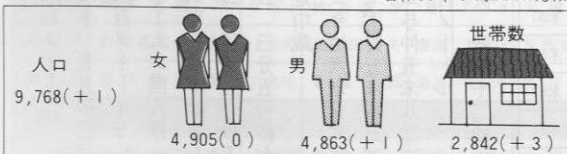


投網の漁師

ミーニシの吹き始めた海は人影もなく静かである。
 夏中、釣人や潮干狩、キャンプの場として、人々にもまれた海は、今は時折投網の漁師が訪れるだけである。
 背中を丸め、猫のように近づく、サッと投げる網の白い輝きが弧を描いて美しい。

今帰仁村の人口

昭和60年9月30日現在



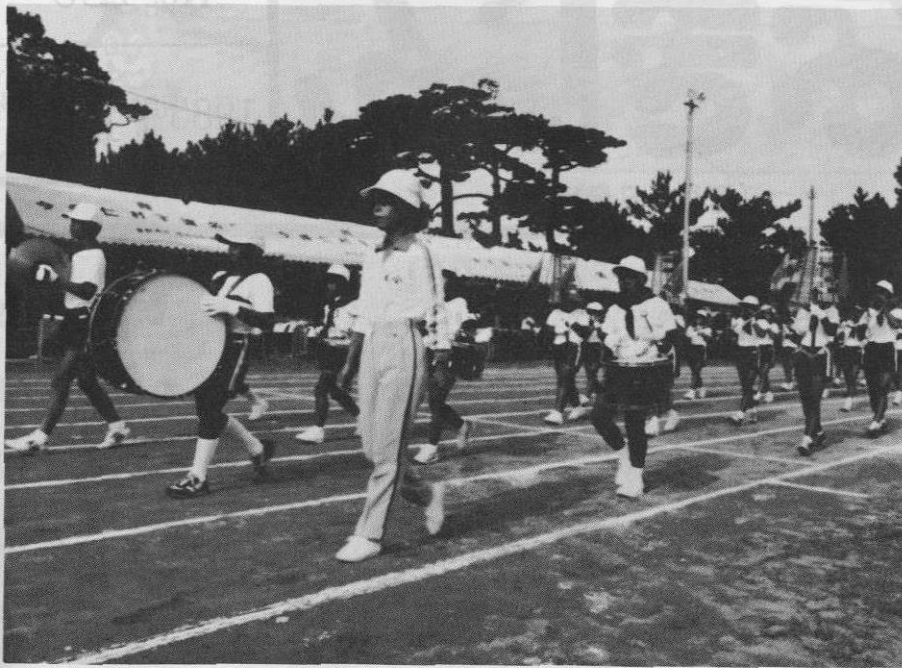
今月の主な内容

- 二・三 第四十回村陸上競技大会
兼次・諸志チームが完全優勝
総合三連覇を達成
- 四 崎山?下間?考
進められる村営事業
- 五 入札結果のお知らせ
- 六・七 運天の大和墓
墓石二基について
- 八 村少年の主張大会・優秀賞
友にささえられて
怖がることはないけれど
悔れない糖尿病
- 九 新任校長で母校に還って
- 十 健康教室
- 十一 健康維持から健康増進へ
健康増進の扉をたたこう

第四十回村陸上競技大会

兼次・諸志チームが完全優勝

総合三連覇を達成



▶大会に花をそえた天小プラスバンドの皆さん

村体協（内間敏会長）主催の第四〇回村陸上競技大会が十月六日午前九時から村営グラウンドで行われました。

台風二十号接近のニュースが聞かれるなかで進められた設営でしたが、この日は、絶好のスポーツ日和となり、男子十九種目、女子十一種目、壮年の部十種目にそれぞれの技を競いました。また五種目に八チームが新記録を樹立し、第四十回記念大会を盛りあげました。

熱戦の結果、男子、女子、総合ともに兼次・諸志チームが優勝（大会三連覇）を果しました。なお、恒例の男子最優秀選手（村長賞）には、千五百〇〇優勝の宮里晃選手（謝越）、女子最優秀選手（議長賞）には、百〇〇優勝の玉城ちえみ選手（今泊）が選ばれ、それぞれトロフィーが贈られました。また男、女の百メートル優勝の仲本満選手、玉城ちえみ選手に山城金長賞のトロフィーが授与されました。村民の間にスポーツを振興さ

第40回陸上競技大会 3位までの成績

種目	1位			2位			3位		
	氏名	チーム	記録	氏名	チーム	記録	氏名	チーム	記録
一般女子									
100M	玉城ちえみ	今	14"4	長浜のみ子	両運	14"5	比嘉弘美	玉呉	14"6
200M	祖堅美和子	謝越	29"7	玉城ちえみ	今	30"1	比嘉弘美	玉呉	32"2
400M	比嘉昭子	玉呉	1'07"6	祖堅美和子	謝越	1'10"0	比嘉初美	兼諸	1'13"2
800M	比嘉昭子	玉呉	2'30"2	当山すま子	両運	2'59"2	金城あやの	今	3'06"2
100MH	志良堂敦子	謝越	21"3	上関葉子	兼諸	21"8			
400MR	大城楨美 玉城米子 比嘉初美 大城順子	兼諸	1'01"5	玉城ちえみ 玉城くに子 金城あやの 玉城夏美	今	1'01"8	比嘉弘美 比嘉昭子 伊佐良枝子 伊上江利子	玉呉	1'04"2
走高跳	山城利津子	与仲	1米25	大城楨美	兼諸	1米25	山城留利子	崎平	1米20
走巾跳	上地章子	宗	4米27	比嘉初美	兼諸	3米71	仲宗根百合子	与仲	3米61
砲丸投	当山すま子	両運	5米87	坂名城たづ子	天	5米12	金城和美	兼諸	4米83
円盤投	玉城睦子	湧	24米54	与那嶺尚子	崎平	21米27	渡慶次淳子	玉呉	20米82
やり投	仲原一梢	崎平	26米78	仲本たか子	今	25米66	長浜のみ子	両運	25米01

せ、スポーツ精神の高揚を図り、あわせて村民の健康を増進し、生活を明るくより豊かにするとともに、競技者相互の親睦を図ることを目的として開催された本大会は、選手達の懸命のプレーが、最後まで観衆を魅了しました。

今年も例年同様、兼諸、今泊を中心に得点争いが展開されました。また、崎平チームが、男子の部三位、女子六位、総合で三位に入る健闘をみせた。

新記録

- ▼ 一般男子四百メートル
- 山城恵（崎平、五五〇〇）
- ▼ 一般男子四百メートルリレー
- 兼次諸志チーム（四八秒一）
- ▼ 一般男子六百メートルリレー
- 崎平チーム（三分五一秒二）
- 兼諸チーム（三分五一秒七）
- ▼ 三十代 走巾跳
- 新城 満（今泊六米三六）
- 山城哲也（玉呉五米八三）
- ▼ 島袋宗弘（与仲五米八二）
- ▼ 四十代 百メートル
- 諸喜田信夫（兼諸十二秒一）

第40回陸上競技大会 3位までの成績

種目	1位			2位			3位		
	氏名	チーム	記録	氏名	チーム	記録	氏名	チーム	記録
一般男子									
100M	仲本 満	今	11'6	山城 透	崎平	11'6	玉城 啓康	玉呉	11'8
200M	島袋 幸輝	兼諸	24'3	山城 透	崎平	24'3	我那覇 勉	与仲	25'1
400M	山城 恵	崎平	55'0	我那覇 宗康	与仲	56'5	島袋 輝也	兼諸	57'2
800M	嘉陽 宗弘	玉呉	2'18'9	山城 嘉	兼諸	2'23'4	上里 光秀	崎平	2'24'4
1500M	宮里 晃	謝越	4'20'4	西平 守隆	天	4'32'0	嘉陽 宗弘	玉呉	4'38'0
5000M	宮里 晃	謝越	16'20'4	西平 守隆	天	16'58'0	上間 直樹	今	18'12'5
10KM	上間 直樹	今	36'53'0	金城 勉	兼諸	37'37'0	崎山 健一	勢渡	38'53'0
20KM	上間 哲夫	今	1'21'06'6	大城 順次	天	1'25'24'7	糸川 朝光	古	1'27'50'6
110MH	島袋 幸輝	兼諸	16'9	山城 正樹	宗	16'9	嘉数 治樹	今	19'7
400MR	島袋 幸輝	兼諸	48'1	山城 透	崎平	49'9	仲本 満	今	50'3
	与那嶺 吉文								
	島袋 輝也								
	石嶺 一也								
1600MR	山城 透	崎平	3'51'2	島袋 幸輝	兼諸	3'51'7	我那覇 勉	与仲	3'59'3
	山城 恵								
	山城 敏樹								
	牧志 盛一								
走高跳	与那嶺 敦	崎平	1米75	仲宗根 康利	今	1米75	大城 清春	天	1米60
走巾跳	仲本 満	今	6米40	与那嶺 吉文	兼諸	6米23	運天 英彦	両運	6米18
三段跳	比嘉 隆	兼諸	12米29	山城 正樹	宗	11米88	長浜 忠宣	両運	11米61
棒高跳	山城 嘉	兼諸	3米05	与那嶺 直樹	与仲	3米05	与那嶺 実	今	2米86
砲丸投	喜納 政満	宗	10米76	山城 智	兼諸	9米96	新城 元	今	9米15
円盤投	与那嶺 勝明	今	29米93	山城 力	兼諸	28米60	与那嶺 篤哉	勢渡	26米66
やり投	与那嶺 誠	今	56米06	山城 智	兼諸	48米96	上地 勝則	両運	40米56
年令別 400MR	島袋 幸輝	兼諸	49'1	仲本 満	今治	49'4	我那覇 勉	与仲	50'9
	与那嶺 吉文								
	大城 秀樹								
諸喜田 信夫			仲宗根 武一			我那覇 宗康			
西島 一将						島袋 宗弘			
30代									
100M	山城 哲也	玉呉	12'0	新城 満	今	12'0	大城 秀樹	兼諸	12'7
1500M	松本 利夫	謝越	5'03'0	仲松 弥寿一	湧	5'13'2	謝花 喜保	宗	5'19'8
走巾跳	新城 満	今	6米36	山城 哲也	玉呉	5米83	島袋 宗弘	与仲	5米82
円盤投	真栄田 修	天	29米84	大城 達美	今	29米14	内間 一仁	兼諸	27米24
40代									
100M	諸喜田 信夫	兼諸	12'1	仲宗根 武一	今	12'4	安田 栄蔵	湧	13'5
800M	仲本 光秀	今	2'32'1	神谷 繁雄	湧	2'37'8	大城 学	宗	2'47'9
走高跳	仲井部 正人	勢渡	1米50	諸喜田 信夫	兼諸	1米45	与那嶺 順和	今	1米45
砲丸投	運天 康有	両運	10米00	金城 三郎	兼諸	9米96	西平 守輝	天	9米73
50代									
100M	内間 英松	兼諸	14'0	新城 堅一	玉呉	14'1	金城 新治	与仲	14'6
砲丸投	大城 藤夫	兼諸	10米73	与那嶺 勝	今	8米66	嘉陽 重恒	湧	7米97

男子順位
 優勝—兼諸(128点)、二位—今泊(119点)、三位—崎平(53点)
 四位—天底(48点)、五位—仲宗根(44点)、六位—玉呉(38点)、七位—与仲(37点)、八位—湧川(27点)、九位—両運謝越、各24点、十一位—勢渡(19点)、十二位—古(12点)

女子順位
 優勝—兼諸(38点)、二位—今(33点)、三位—玉呉(28点)
 四位—両運(24点)、五位—謝越(20点)、六位—湧、崎平、(18点)、八位—宗(12点)、九位—与仲(10点)、十位—天(5点)

総合順位
 優勝—兼諸(166点)、二位—今泊(152点)、三位—崎平(71点)
 四位—玉呉(66点)、五位—宗(56点)、六位—天(53点)、七位—両運(48点)、八位—与仲(47点)、九位—湧(45点)

十位—謝越(44点)、十一位—勢渡(19点)、十二位—古宇利(12点)。
 なお選手として、永年活躍し、成績が顕著であるとして、内間英松、仲宗根武一、大城秀樹、上間哲、上間直樹、玉城明美、大城清美、我那覇カヨ子、島袋るみ子の各氏が優秀選手賞を、与那登安、与那嶺清治、大城成孝、新城英彦、大城成充、嘉陽宗敬の各氏が功労賞、光武俊和氏、喜屋武国男氏が村スポーツの振興発展に寄与したとして感

50代100Mの表彰



謝状を授与されました。さらに、大会終了後、十月二十日の国頭郡陸上競技大会へ出

場する三十六人の選手の選抜も行なわれました。

崎山？下間？考

玉城鎮夫



我が沖繩の地名は、方言名がそれを漢字を当てて表現すると大きく変形名詞になっていると

強く感じられる地名がある。

先ず、我が村内の崎山を考えて見ることにする。

「崎山」を「ひちやーま」と呼称していることである。

首里の崎山は「さちやま」と呼称し「ひちやーま」とは呼称しないのである。

この「崎」は、岬や山の名詞であり「ひちやーま」の「ひち

やー」は「下」ではないだろうか。つまり、諸々の下部の名詞であり、例えば、木の下。傘の下。床の下。下着。屋の下。馬具の「下ンタ」。ひちやー山（下の山）ひちや原（下の畑）等々でその他にもある。

また「さちー」には、指先（ういびさち。針先（ばい先）、尖小刀（さちしいぐう）棒ぬ先（ばうぬ先）御箸の先、或は国頭ぬ岬。備瀬岬。辺土岬。残波岬等々と、これらはすべて「さちー」で呼称している。

大正の末期頃まで、北山高校の南に「上間」という昔の邑跡

があり、その下方には「中城

（ながぐすく）現在の仲尾次があり、その下方に当る邑は上間邑と中城邑の下に位置している。

つまり、下の方、下の邑（下の間）になり、我が崎山は「下間」の転化の当字ではないかと思ふものである。

一説をここに紹介を試みてみることにします。

私達の同業者の先輩の方で、糸満市字糸満九六七ノ四に今は亡き崎山以儀という人があり、その子に現在同住所に崎山崇考がいる。その崎山家の御先祖に崎山地頭職をなされた方が居ら

れて、その当時の祖先は、首里崎山邑の出身であったということである。その崎山出身の地頭職が「崎山姓」でその名が崎山邑と呼称されたという説を先輩の崎山以儀氏（故人）から同業の装蹄師会（県）の席で、二、

三度もその伝説を私に話され、昔、縁が深かったと話しておられた。先ず御一考の上村民の御参考になる御意見がございましたら

ればこれまた幸と思うものである。今一つ「崎山」と「下間」の発音も非常に近似している。語音もまた一考を要することも忘れてはいけない重要点である。

会長に

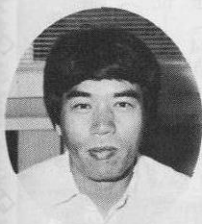
嘉手納氏を決定

今帰仁村選挙管理委員会（新城俊雄委員長）では九月十八日「今帰仁村明るい選挙推進協議会」を開催、推進委員十名を決定し、委嘱状の交付を行ないました。尚協議会の委員は次のとおりです。

- ▼会長 嘉手納典一 今泊
- ▼副会長 仲原 武一 謝名
- ▼委員 宮里 政新 越地
- ▼委員 島袋 辰巳 仲宗根
- ▼委員 金城 福成 諸志
- ▼委員 嘉陽 宗三 湧川
- ▼委員 諸喜田峯夫 仲宗根
- ▼委員 吉田 清尊 今泊
- ▼委員 我那覇トシ子 仲宗根
- ▼委員 伊是名和子 天底

お知らせ!!

村立診療所に 内科・小児科を開設

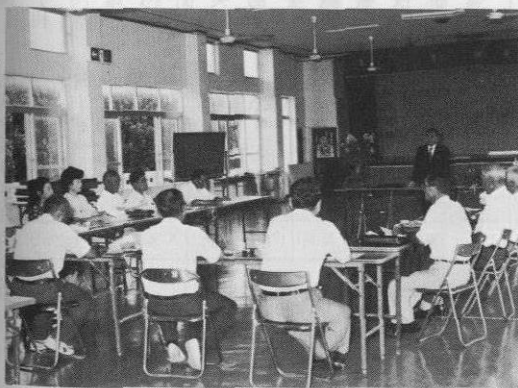


▲芥川宗嗣医師

村立診療所（謝名在）に内科及び小児科が開設されますのでお知らせいたします。尚、診療科目等については、次のとおりです。

- 診療科目 内科・小児科
- 診療時間 月～金 9:00～18:00
土 9:00～12:30
- 休診日 日曜日、祝祭日
- 診療開始 昭和60年11月1日

今帰仁村明るい選挙推進協議会 委員10名に委嘱状を交付





入札結果のお知らせ

四月一日から九月二十一日までに行なわれた入札の結果を次のとおりお知らせします。

(事業名、金額、落札者名)

▼玉城林道舗装事業調査測量設計委託業務
四〇〇千円

▼三共開発エンジニアリング
代表者 新城喜正

▼村道呉我山天底線調査測量設計委託業務
四二〇〇千円

▼(資)沖建コンサルタン
代表者 松竹昇三

▼兼次今泊線測量設計委託業務
三八〇〇千円

▼北斗設計株式会社
代表者 糸数一世

▼仲宗根地区簡易水道工事設計委託業務
七一五〇千円

▼(株)協和建設コンサルタン
代表者 東江憲六

▼諸志線測量設計委託業務
二二〇〇千円

▼(資)三共開発エンジニアリング
代表者 新城寛正

▼今帰仁中央線舗装工事
七一〇〇千円

▼島政建設
代表者 島袋政春

▼湧川小学校校舎新増築工事設計監理委託業務
一四〇〇千円

▼(資)小浜一級建築設計事務所
代表者 小浜英俊

▼呉我山天底線道路改良工事
一二六〇〇千円

▼(資)今帰仁建設
代表者 宮城康吉

▼湧川手々原線道路改良工事
一八五〇〇千円

▼嘉陽組
代表者 嘉陽重安

▼(資)今帰仁建設
代表者 宮城康吉

▼今帰仁村営住宅兼次団地設計委託業務

四五〇千円

▼(資)伊波建築設計事務所
代表者 伊波寛也

▼古宇利漁港磁気探査委託業務
三〇〇〇千円

▼日本磁探測量株式会社
代表者 田代春好

▼(資)古宇利農道工事
六七七〇千円

▼(資)国吉組
代表者 国吉真栄

▼諸志集落工事
二六〇〇〇千円

▼(資)国吉組
代表者 国吉真栄

▼越地排水路工事
四七〇〇〇千円

▼(資)孝夫組
代表者 仲原孝夫

▼玉城林道舗装工事
六四五〇千円

▼(資)新城組
代表者 新城吉清

▼仲宗根地区簡易水道拡張工事
一二四〇〇〇千円

▼(資)今帰仁建設
代表者 宮城康吉

▼今帰仁村営グラウンド夜間照明設備工事
九七〇千円

▼池田電気工事社
代表者 池田清吉

▼今帰仁村コミュニティセンター
代表者 池田清吉

▼今帰仁村営住宅兼次団地新築
代表者 比嘉弘政

▼今帰仁村営住宅兼次団地新築
代表者 比嘉弘政

四五三、五千元

▼(資)サンケイエンジニアリング
代表者 真栄田喜政

▼今泊地区空中写真測量委託業務
二二〇〇千円

▼(株)バスコ沖繩事業所
代表者 池田清一郎

▼湧川小学校校舎新増築建築工事
二二〇〇〇千円

▼嘉陽組
代表者 嘉陽重安

▼(資)嘉陽組
代表者 嘉陽重安

▼湧川小学校新増築設備工事
二五〇〇千円

▼池田電気工事社
代表者 池田清吉

▼今帰仁中学校周辺整備工事
一四五〇千円

▼(資)渡久山土木
代表者 渡久山祐一

▼今帰仁村営住宅兼次団地造成工事
一五〇〇千円

▼(資)北山建設
代表者 山城正章

▼村道勢理客線測量設計委託業務
七五〇〇千円

▼(株)沖繩土木設計コンサルタン
代表者 与儀実友

▼(株)給食センター備品購入
代表者 与儀実友

▼(株)丸屋厨房
代表者 屋嘉比康仁

▼(株)丸屋厨房
代表者 屋嘉比康仁

▼(株)丸屋厨房
代表者 屋嘉比康仁

島政建設

代表者 島袋政春

▼今帰仁村営住宅兼次団地新築
設備工事
七八五〇千円

▼(資)金良電化センター
代表者 金良宗幸

▼古宇利農道用地測量及び分筆申請委託業務
一一〇〇千円

▼(株)協和建設コンサルタン
代表者 東江憲六

▼湧川線道路改良工事
二一〇〇〇千円

▼嘉陽組
代表者 嘉陽重安

▼農村総合整備モデル事業調査測量設計委託業務
四八〇〇千円

▼北斗設計株式会社
代表者 糸数一世

▼今帰仁村営住宅今帰仁団地新築設備設計委託業務
三〇〇千円

▼KS設計室
代表者 佐久川守仁

▼湧川ため池等整備事業調査測量設計委託業務
七五〇千円

▼(株)総合設計
代表者 与儀実友

▼(株)給食センター備品購入
代表者 与儀実友

▼(株)丸屋厨房
代表者 屋嘉比康仁

▼(株)丸屋厨房
代表者 屋嘉比康仁

▼(株)丸屋厨房
代表者 屋嘉比康仁

▼(株)丸屋厨房
代表者 屋嘉比康仁

運天の大和墓 墓石二基について

を中心に紹介します。

ここ運天の地は、「海東諸国記」(一四七一年)の古地図で「運見」と記され、オモロでは「うむてん」とうたわられています。運天には、百按司墓や大北墓をはじめ、古墓が群をなしています。また薩摩軍の琉球入り、番所の設置、外国船の来航など歴史上重要な役割を果たしています。ここで紹介する大和墓の二基の墓石もまた古くから良港として機能していた運天港がもたらした史料のひとつといえます。

大和墓の二基の墓石は、本来あつた場所から移動しており、一時、大北墓の墓庭の一角に安置されていたこともあり、大北墓と関係がないということ、現在の場所に移したと言われています。大和墓があつた元の場所は、今のところ確認していませんが、現在ある墓石の位置から、そう離れた所ではないとみられます。

明和五年の墓石

運天の集落北東部の漁業協同組合の裏側に、二基の大和墓の墓石があります。運天の大和墓について、昭和五年の「人類学雑誌」、昭和五〇年の「今帰仁村史」に、その名が出ており知られています。しかし、大和墓が具体的にどのような墓であるかについての説明がありません。そこで、大和墓の墓石(二基)

最初に、明和五年(一七六八)の年号の刻まれた古い墓石からみていくことにします。墓石の正面に、「明和五戊ノ子年八月廿二日」とあり、正面中央に「妙法〇定信」と刻まれています。一般的に墓石の正面や側

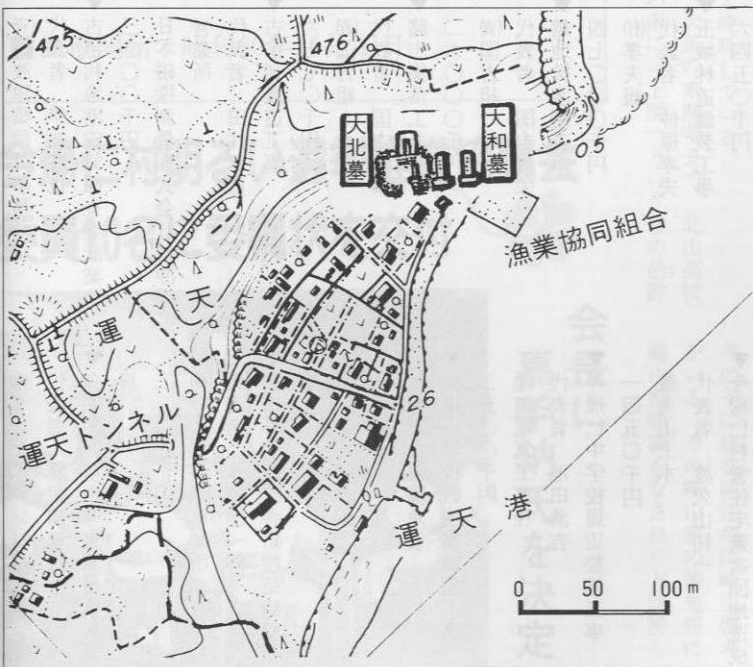
面に葬られた人の没年や墓建立の年月日が彫られます。それからすると、明和五年(一七六八)に没し葬られたか、あるいは墓の建立がなされたものといえます。中央部の戒名「妙法〇定信」の「妙法」は、仏教の経典に出てくる言葉で、特に天台宗や日蓮宗に関わる方の戒名に用いられます。そこに葬られた人物、あるいは一門がその宗派の門徒であつたのであろう。

墓石の右側面には、「屋久嶋

宮之浦ノ父立也新七敬白」と彫られています。そこ葬られている戒名「妙法〇定信」は、現在の鹿児島県の屋久島宮の浦出身で、当時は薩摩藩の属島です。父親が息子の新七のために墓をつくり葬つたのでしよう。

台座正面に、蓮弁の模様が彫られています。墓石の基部は、凸型をなし、台座の中央部は凹型をなし、はめ込めるようになっていています。

明和五年(一七六八)といえ



安政二年の墓石

ば、中国年号の乾隆三三年にあたり、琉球では尚穆王の時代になります。この運天の地では、大北墓が拝領墓(乾隆二六年、一七六一)として王府から許可されて七年後のことです。薩摩藩の支配下に置かれていた琉球国の北側の重要な港として機能していた運天港。このような時代の中で、番所に近い場所に大和墓をつくり墓石を建てて葬つた人物は、琉球と薩摩との間でのどのような役割を果たしていたのであろうかと興味ある問題を投げかけています。

安政二年(一八五五)の年号が刻まれた墓石は、写真の右側のもので、完全な形で残っています。墓石の正面中央部に「即心帰郷信士」とあり、一般的に戒名と呼ばれています。少し詳しくみると、「即心」が道号・「帰郷」が戒名(狭義)・「信士」が位号になります。道号は故人の徳を示すことが多く、「士」は、男子が死亡したのちにつける称号です。狭義の戒名の「帰郷」部分に俗名の一字を入れることが多く、そこに俗名の一字が入っているかどうか、はつきりしない。「帰郷」とつけたのは、琉球国の運天の地に葬られた大和人の故郷へ帰りたい気持ちを



大和墓の墓石(正面)



大和墓の墓石(側面)
(左が明和五年、右が安政二年)

察したものであろうか。
墓石の側面に、「安政二年卯、十月七日」と刻まれています。その出身地は、なんら記されていません。安政二年(一八五五)は、中国年号の咸豊五年、琉球では尚泰王の時代にあたります。そのころ、琉球の洋面上に外国船がたびたび姿をみせるようになります。十一年前の弘化三年

(一八四六)に、フランスの艦船が運天港に入港しています。運天の対岸の屋我地島にオランダ墓(仏国人の墓)がつくられたのもその時です。何かと運天も、外国船の来航の余波をうけるようになります。このような時代を、安政二年と刻まれた墓石の下に葬られた大和人は、どのような目で眺めていたのであろうか。

今後の課題

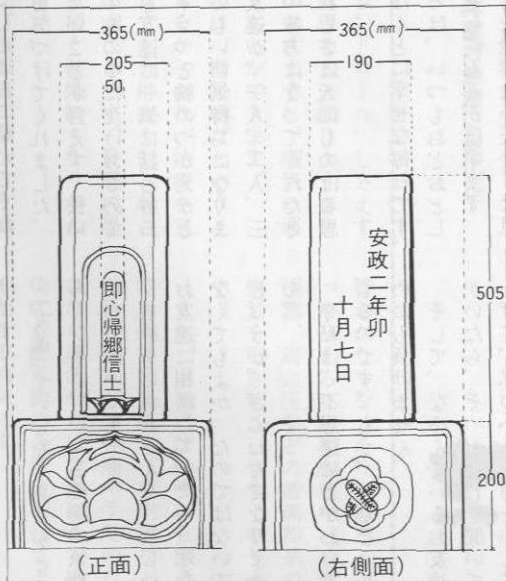
これら二基の墓石は、並んでありますが、八十七年の年代差があり全く別々の墓石です。それらは、大和墓と呼ばれているように、墓石の様式や「屋久嶋宮之浦」などから大和人を葬った墓であることは間違いない。これまでのところ、二基の墓石と直接つながる文献資料を手にしていないこともあり、詳細については、今後の調査研究を待たなければなりません。

また、「今帰仁村史」に、「仲宗根大井川下流炬炬港にも大和墓の古墳あり」と記されていますが、今のところ未確認です。この炬炬港の大和墓についての確認調査も、今後したいと思っています。

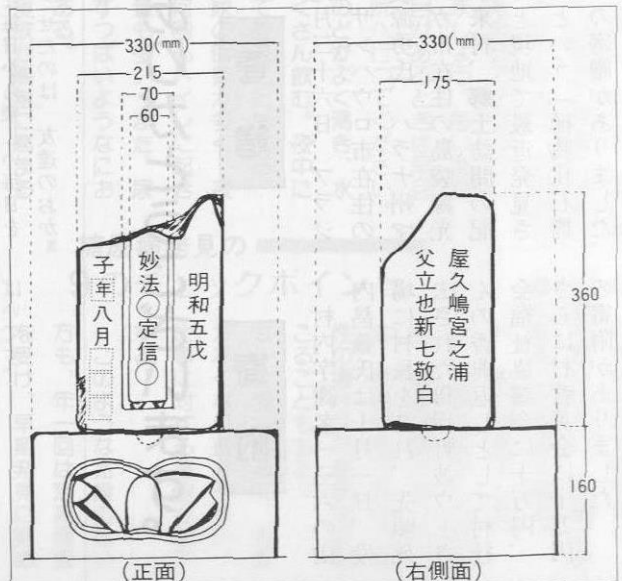
村文化財保存調査委員

仲原 弘 哲

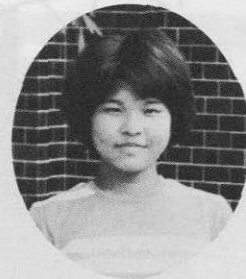
安政2年(1855)の墓石



明和5年(1768)の墓石



村民コーナー



友にささえられて

天底小学校六年

謝花 瞳

「友達にうそばかりついてめ

いわくをかけてしまいました。本当にごめんない。友達関係では、今は、すごく学校へ行くのがいやです。学校へ行っても、もう友達はいません。お母さんこんなバカな娘を育ててくれてありがとう」：今年、一月二十一日、級友から加えられるいじめが原因で、自分の命を絶った大阪の中学二年生、A子さんの遺書です。A子さんが、どんな気持ちで、この遺書を書きつづけたのか、私にはわかるような気がします。

つもやさしくされていいね。あなたは、先生の子だもんね」とか、「ひとみ、ぶたのまねをしないで、ささい」などわざと私がいやがることをおしつけてさせようとするのです。

くやくして「なによ」とでもいおうものなら、放課後、体育館の用具室や、校舎のうらなど人目につかない所へよび出され、二・三人で、いやみや、あだななどをいわれて必ず泣かされるのです。泣くとゆるしてくる状態です。

これを考えると、くやくしても、いいなりになって、Bさんのきげんをとらなければなりませんでした。

ある日など、帰ろうとして、くつをとって見たら、くつの中に手紙がはいっているのです。その場で見るのがこわくて、いそいで家に帰り、おそるおそるひらいて見ると「あなた、この頃なまいきじゃない。やっぱり

これはバカなせいでしよう。バカなひとみさんへ」こう書いてありました。

その時、私はかなしくて、かなしくて、勉強どころじゃありませんでした。

ねながら「私なんかこの世にいない方がいいのかなあ」と考え、自分がいやになって、なみだがこみあげてきたことも、何度かありました。

四年生になってもまた、Bさんと同じ組になり、なまはずれにされ、つらい日、いやな日がつつき、それからのがれる方法はないかと、考えました。

先生や両親にうちあげようかと何度もまよいましたが、勇気がありません。

もし、知られたらもっとつらい目にあうと思ったからです。いろいろ考えた結果、いちばん親しいお友達にうちあけることを決心しました。

小学生の主張大会・優秀賞

た様子でしんげんに聞いてくれ、そして勇気づけてくれました。言いたいことが言えず、長い間自分の胸のみに話しかけていた事を友達に一気に話しかけると、すうっと胸のつかえがとれ、とてもいい気持ちになりました。友達が、一人、二人、三人と私の味方になってくれたときのうれしさは天にものぼる思いでした。

今はほんとに幸せな毎日です。あのころは、いつもおどおどして、何をしても心がはずまず、まっくらな世界にいたように思っています。

いやな毎日から楽しい毎日をとりにどせたのは、友達のおかげです。

今私は、不思議に力がわいてくるのです。もう、どんないじめにも負けません。

そして、なやんでいるお友達がいたら、そつと話しを聞いてあげて、私の小さな力をかしてあげたい、そんな気持ちでいっぱいです。

ありがとうございます。

寄贈

寄附

九月二十六日、ブラジル、サンパウロ市在住の島袋源勇氏、バラナ州マリンガ市在住の島袋源光氏が来村、郷土訪問の記念にと現地で最近発見されたという「植物化石標本」の寄贈がありました。

村内字謝名一三六の山内昌藤氏は十月一日、役場に村長を訪れ、先頃死去された母伊野波ウトさんの香典返しとして村社会福祉協議会に十万円、さらに村育英会に十万円を寄附がありました。

怖がることはないけれど

侮れない糖尿病

働き盛りの中年の体をジワジワとむし

ばむ糖尿病。年々増える傾向にある糖尿

病は、自覚症状が出にくく、そのままほ

おっておくと心臓病や腎臓病、視力障害

などの余病を併発することもあります。

中年になったら、まず糖尿病の検査を

定期的に行うようにして、早期発見、

早期治療に心がけましょう。

なぜ？

糖尿病になるのか

糖尿病は、すい臓から出るインスリンというホルモンの分泌が悪くなり、血液中の糖分がうまく体にとり込めなくなる病気です。

インスリンが出にくくなる原因

このように、二つの原因が複

雑に絡み合って発症しますが、特に次のような人は必要に応じて定期的な検査をうけ、糖尿病になつていないかどうかを確かめるようにしましょう。

▼両親や近い血族に糖尿病の人がいる人。

▼四十歳を過ぎて太っている人

▼運動不足の人

▼血糖値はそれほど高くないのに尿から糖のでている人。

怖いのは

合併症

糖尿病は、いったんかかると完全に治るということはありません。しかし、だからといって、むやみに怖がることもありません。万が一かかったとしても、早い時期に正しい治療を受け、病

を知らなかったり、治療を怠ったりして、合併症を引き起こしてしまふことです。最悪の場合死を招く結果にもなりかねません。

怖いののは、糖尿病だということを知らなかつたり、治療を怠ったりして、合併症を引き起こしてしまふことです。最悪の場合死を招く結果にもなりかねません。

怖いののは、糖尿病だということを知らなかつたり、治療を怠ったりして、合併症を引き起こしてしまふことです。最悪の場合死を招く結果にもなりかねません。

怖いののは、糖尿病だということを知らなかつたり、治療を怠ったりして、合併症を引き起こしてしまふことです。最悪の場合死を招く結果にもなりかねません。

怖いののは、糖尿病だということを知らなかつたり、治療を怠ったりして、合併症を引き起こしてしまふことです。最悪の場合死を招く結果にもなりかねません。

糖尿病は、知らない間に進行していることがあります。早期発見のために、次のポイントを自分でチェックしてみてください。思いあたる項目があるときは早目に病院へ行ってください。

- 1 のどがよく渇き、水をたくさん飲む。夜中に起きて飲むこともある。
- 2 尿の回数が多く、夜中に何回もトイレに起きる。量も多い。また、尿に甘ずっぱいようなにおいがある。
- 3 食欲が異常に高まることがあり、特に甘いものを好むようになった。
- 4 体重が急激に変化した。

糖尿病発見の

9のチェックポイント

- 5 できものができやすく、しかも治りにくい。皮膚がかゆくなることもよくある。
 - 6 視力が低下した。
 - 7 手足の先がしびれたり、感覚が鈍くなった。
 - 8 性欲が低下する。女性の場合は月経異常が起ることもある。
 - 9 全身がだるく、元気がなくなり疲れやすい。仕事に対する意欲が低下する。
- このような兆候のない方も、年一回は定期検査を受け、早期発見に努めましょう。



気を「コントロール」しさえすれば、健康な人と同じような日常生活が送れますし、病気の悪化を防ぐことができます。

怖いののは、糖尿病だということを知らなかつたり、治療を怠ったりして、合併症を引き起こしてしまふことです。最悪の場合死を招く結果にもなりかねません。

また、ときには失明にも至る糖尿病性網膜症や、白内障などの目の病気、神経痛や手足のしびれ、細菌やカビなどによる感染症も糖尿病の合併症としてよく起きる病気です。

★砂糖の一日目安量は...

幼児 30グラム

小学生以上 20グラム

糖尿病患者や肥満の人 6グラム

新任校長で母校に帰って

運天政一



するどころか、時おりかすめる反省も何のそので走り出し、一部の職員から「板子一枚下は地獄」の水産教育とは違いますが、校長ノ」と言われながらも（水産）職人気質をおさえたかた出で立ちで一学期を終えたような気がする。二学期に入ってホツと一息、あらためて周囲を見まわす時、遠きにおいて温めてきた郷関への甘い思いは、時移り、人変り、山河すら一部様相を変えた我がふるさとの、昔の北山とは違う母校の、変容として厳しくとらえ直す必要に迫られ、今浦島の実感を深めるのである。

いつの頃であつたらうか、多分、学校指導課にいた頃、ある酒席における教育談義のなかでのことであつたと思う。

たま／＼話題が「学校経営」になり、母校における学校経営にロマンを求める話に及んだ。

かつて、かけ出しの頃、代用教員をしたこともある我が母校は、「遠きにありて思うふるさと」とそのものであつたが、私にとってこの素材は、望外のこととして、専ら傍観者の立場で加つていたように思う。

それだけに、今度、はからずも新任校長を母校に拜命し、その心のはやり、昂ぶりは、筆舌に尽くせないものがあつた。

それは、専門領域からみて、現実には叶えられることのない「夢」と一応片付けられていたことが、突如実現したこと、それに、常日頃悪戦苦闘？の教職

生活のさなかにあつて、時折、遠く地平をみる思いで遙かに眺めていた我が教職生活の原点に帰ることへの晴れがましくも、また恐れ多い感慨であつた。

しかもちやうど三〇年ぶりに帰るといふあたりに或る運命的なものすら感じ、一種抗い難い思いが心の中を駆け巡つた。

二〇年ぶりに畳更えをして住むふるさとの我が家が家に、ふと潮騒の音にゆり覚まされては思うことがしばしばであつた。

さて、多くの方々から「故郷に錦を飾つて」と言われてふるさとに帰り、かつての師、同僚、教え子等から、或る期待を含んでの再会のあいさつを戴くに及んで、たじろぎを覚え、いよいよよきびしい現実を背負つての母校校長就任と相成つた。

この気負いは「まず、一年ぐらいはじっくり職員の話でも聞いて……」の心づもりを忘れさせ、初っぱなから職員を論議の渦中に巻き込むスタートとなつた。それでなくても、生来「一言多い」私は、教頭職から脱けきれない自分にもどかしさを感じ

いかと思う。即ち、当面いかに

して三重障壁を克服するか、まず新人であることの自覚、つまり、教頭職からの脱脚である。二つめに、職業教育三〇年の壁、つまり、長期間にわたつて普通科教育から離れていたことに対する謙虚な姿勢、三番目に実質的には三〇年ぶりの転勤、しかも新任での大転換という難しい立場に立つことの自覚、この三つの上に「ふるさと」「母校」という、私にとつてのささやかな利点をどう有効裡に生かすかであろう。

ここらあたりに視点を置いて職員、生徒および広く今帰仁村

民各位のご協力をいただきつつ、微力を尽くして行きたいと思う日々である。

赤鷲羽ばたくこの台上から、いつに変わらぬ松の緑濃き村里を眺めつつ、また、キビの葉のそよぎに往時の黄金の穂波を偲びつつ、三十数年前の、あの日の頃の今に交錯させながら「新任の」「今浦島の」教科領域からみれば「外様」もいところの私に、ふるさとなるが故に、母校なるが故に、何が出来るか、思うことしきりである。

(県立北山高等学校校長)

メキシコ大地震救援金募集

実施期間 昭和60年10月1日～11月30日

募集品目 現金のみとする。

受付場所▶ 日本赤十字沖縄県支部

那覇市久茂地1-1-48

▶ 日本赤十字社沖縄支部今帰仁分区
分区長 松田幸福

▶ 直接次の銀行口座へ振込んでまっこうです。

沖縄銀行本店口座 番号922781

琉球銀行本店口座 番号176476

沖縄相銀本店口座 番号042469

主 催 日本赤十字社沖縄県支部

※村民の心からなるご協力をお願いします。

測定
の
順
序

採尿



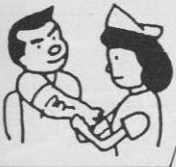
採血



身体測定



皮脂厚



心電・血圧・心音



一次判定



栄養
運動
休養
指導

半健康人

健康人

要医療者

医療機関
紹介

負荷心電図検査



運動機能測定



総合指導

栄養・運動
休養・生活
処方の交付

「健康教室

健康維持から健康増進へ」

——健康増進の扉をたたこう！——

- 開催日 昭和60年11月17日（日曜日）
- 場所 今帰仁中学校体育館
- 時間 午前9時開始 午後3時00分終了

1. 実施内容

まず
健康度測定



● 医学的検査

1. 尿検査
2. 血液検査
3. 身体計測
4. 血圧測定
5. 心電図検査

● 運動機能(体力)測定

1. 反復横とび
2. 垂直とび
3. 握力
4. 上体おこし
5. 立位体前屈
6. 全身持久力検査（急歩・自転車エルゴメーター）

● 問診

栄養、運動、休養及び生活状況などをお聞きして健康度測定の総合判定の参考にします。

● 指導

医師、運動指導員、保健婦、栄養士等によって個々人の健康状態に見合った指導を行います。

● パネル展示

● 映画(ビデオ)

2. 料金 無料

3. 健康教室利用の方法

- 利用なさる方は、役所に11月12日迄に申し込んで下さい。
- 申し込んだ方には問診票をお送りしますので自宅で記入して当日ご持参下さい。
- 当日はトレーニング服、運動靴などをご持参下さい。
- 当日はおにぎり等の軽食を各自でご準備下さい。



11月1日
12月2日

村民カレンダー



11月1日	金	
2日	土	○健康相談(8:30~11:00、保健婦室)
3日	日	○文化の日 ○球技大会(9:00~北山高・今中体育館) ○拓本展(8:30~12:00、中央公民館) ○講演会「琉歌と今帰仁」(14:00~中央公民館)
4日	月	○振替休日 ○拓本展(8:30~12:00、中央公民館)
5日	火	○定例区長会(14:00~役場会議室) ○ポリオ予防接種3ヶ月以上(13:00~役場ホール) ○ことばの教室(9:30~コミセン)
6日	水	○湧小中幼インフルエンザ予防接種(9:30~) ○映写会「母さんは歌ったよ」(19:00~コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン)
7日	木	
8日	金	○古宇利小中幼インフルエンザ予防接種(10:30~) ○ことばの教室(9:30~コミセン) ○村内団体ソフトボール(9:00~村営グラウンド)
9日	土	○金融機関休日 ○健康相談(8:30~11:00、保健婦室)
10日	日	○乳児健診(9:00~3:00、役場ホール) ○障害者フェスティバル(9:00~21世紀の森)
11日	月	○人権相談(10:00~コミセン)
12日	火	○今中インフルエンザ予防接種(9:30~) ○ことばの教室(9:30~コミセン)
13日	水	○天小幼インフルエンザ予防接種(9:30~) ○機能訓練(13:00~15:00、コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン)
14日	木	○兼小中幼インフルエンザ予防接種(9:00~)
15日	金	○今小幼インフルエンザ予防接種(9:00~) ○ことばの教室(9:30~コミセン)
16日	土	○健康相談(8:30~11:00、保健婦室)

17日	日	○健康教室(9:00~今中体育館) ○沖縄県ホッケー大会(9:00~17:00、村営グラウンド)
18日	月	○DPT予防接種(13:00~14:00、役場ホール)
19日	火	○ことばの教室(9:30~コミセン)
20日	水	○定例区長会(14:00~役場会議室) ○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン) ○献血(村役場)
21日	木	
22日	金	○ことばの教室(9:30~コミセン)
23日	土	○勤労感謝の日 ○第三回ミヤクニー大会(14:00~コミセン) ○壮年ソフトボール大会(9:00~村営グラウンド)
24日	日	○壮年ソフトボール大会(9:00~村営グラウンド)
25日	月	
26日	火	○防火デー非常召集(7:00~村営グラウンド) ○ディケーア ○ことばの教室(9:00~コミセン)
27日	水	○機能訓練(13:00~15:00、コミセン) ○ことばの教室相談(9:30~コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00、コミセン)
28日	木	
29日	金	○ことばの教室(9:30~コミセン)
30日	土	○ことばの教室公演会(14:00~コミセン)
12月1日	日	
2日	月	

生活にとけこんでいる。

■とにかく、外来語は私たちの生活用語の中で確実にその地位を確保して、その意味を考えることが漢字的要素を持って日常

■ニューメディア。シンクタンク。バイオテクノロジー等と並べ用語事典でみてみると、漢字で書いても不思議ではないと思われるものも少なくない。と思うのは私だけでしょうか。

■先日、ある合会に出席する機会を得て、席上のあいさつの中で、多くの外来語があいさつの中に出てきた。話を聞いている間は、理解できたような気持ちで帰って来て、その単語の一つ一つを取って考えてみると案外にわかっていない自分に驚き、あきれることがある。

■外来語のはんらんと言われてから久しい。私たちは日常生活の中で、好むと好まざるにかかわらず、新聞、テレビに初まり会話の中でもよく外来語に接する機会が多くなり、その意味が漠然と理解されているような気持ちになっている。



編集後記